

一 行政簡素化實施ノ為ニスル速信  
省官制中改正ノ件

一 行政簡素化實施ノ為ニスル簡易  
保險局官制制定ノ件

右謹テ上奏シ恭シク  
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

昭和十七年九月七日

内閣總理大臣東條英機

内閣

勅令第 號

逓信省官制中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

逓信大臣ハ郵便、電氣通信、郵便及電氣通信ノ附帶業務並ニ電氣及發電水力ニ關スル事務ヲ管理ス

同條第二項ヲ削ル

第二條中「書記官ハ十四人」ヲ「書記官ハ十七人」ニ改ム

第三條中「管理局」及「經理局」ヲ削リ「郵務局」ノ前ニ「總務局」ヲ、「工務局」ノ次ニ「電氣局」ヲ加フ

第三條ノ二 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 逓信事務ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要逓信政策ノ綜

合調整ニ關スル事項

二 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算、決算並ニ會計ニ關スル事項

三 會計ノ監査ニ關スル事項

四 本省所管ノ國有財産及物品ニ關スル事項

五 電氣通信用品ノ製造及修繕ノ作業ニ關スル事項

第四條 郵務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便ニ關スル事項

二 従事員ノ勤務條件、保健及養成ニ關スル事項

第四條ノ三ヲ削ル

第六條 電氣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 電力管理法ニ依ル電力ノ管理ニ關スル事項

二 電氣ニ關スル事業監督、取締及檢定ニ關スル事項

三 發電水力ニ關スル事項

第六條ノ二第一項中「勅任又ハ」ヲ削リ同條ヲ第六條ノ四トス

第六條ノ二 遞信省ニ電氣局參與十五人以内ヲ置キ局務ニ參與セ

シム

電氣局參與ハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル電氣局參與ノ任期ハ三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

電氣局參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第六條ノ三 遞信省ニ專任電氣技監一人ヲ置ク勅任トス  
電氣技監ハ電氣局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理ス

第七條第一項中「事務官專任三十八人」ヲ「事務官專任四十五人」ニ改ム

第七條ノ二第一項中「電信官專任十一人」ヲ「電信官專任八人」ニ改ム

第七條ノ三第一項中「遞信官吏練習所教官專任三十人」ヲ「遞信官吏練習所教官專任二十七人」ニ、「十八人奏任十二人判任」ヲ「十六人奏任十一人判任」ニ改ム

第八條中「技師四十二人」ヲ「技師百一人」ニ、「内一人」ヲ「内六人」ニ改ム

第九條中「屬ハ專任四百九十三人」ヲ「屬ハ專任四百七十三人」ニ改ム

第九條ノ二第一項中「電信官補專任十五人」ヲ「電信官補專任十人」ニ改ム

第十條中「技手百八十八人」ヲ「技手二百九十二人」ニ改ム

第十條ノ三第一項中「電氣通信建設事務所」ヲ「電氣通信建設事務所」ニ、同條第二項中「電信電話建設事務所」ヲ「電氣通信建設事務所」ニ改メ同條ヲ第十條ノ四トス

第十條ノ三 遞信省ニ遞信官吏練習所ヲ置キ遞信官吏又ハ遞信官

其タルベキ者ノ養成ヲ掌ラシム

遞信官吏練習所長ハ遞信書記官ヲ以テ之ニ充ツ

第十條ノ五 遞信省ニ海底線工事事務所ヲ置キ海底線ノ布設及保  
存工事ヲ掌ラシム

海底線工事事務所長ハ遞信技師ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

電氣廳官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ電氣廳職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザ  
ルトキハ電氣廳書記官ハ遞信書記官ニ、電氣廳事務官ハ遞信省事  
務官ニ、電氣廳技師ハ遞信技師ニ、電氣廳屬ハ遞信屬ニ、電氣廳

技師ハ遞信技師ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ電氣廳職員ニシテ休職中ノ者別ニ辭令ヲ發セラ  
レザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ遞信省職員ニ同官等俸給ヲ  
以テ任セラレタルモノトス

勅令第

號

簡易保險局官制

第一條 簡易保險局ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ簡易生命保險、郵便年金及其ノ附帶業務ニ關スル事務ヲ掌ル

遞信大臣ハ簡易保險局ノ事務ヲ分掌セシムル爲必要ト認ムル地ニ簡易保險局ノ支局ヲ設ケルコトヲ得

第二條 簡易保險局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長 勅任

書記官 專任九人 奏任

事務官 專任三十三人 奏任

技師 專任六人 奏任



書記 專任二千六十三人 判任

技手 專任四十八人 判任

書記補 專任千八百九十三人 判任

第三條 局長ハ遞信大臣ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第四條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第五條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第六條 書記及書記補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第七條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第八條 支局長ハ書記官ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ保険院職員ノ職ニ在リテ簡易保険局ニ屬スル者別ニ辭令ヲ發セラザルトキハ保険院書記官ハ簡易保険局書記官ニ、保険院事務官及保険院簡易保険事務官ハ簡易保険局事務官ニ、保険院技師ハ簡易保険局技師ニ、保険院屬及保険院簡易保険書記ハ簡易保険局書記ニ、保険院技手ハ簡易保険局技手ニ、保険院簡易保険書記補ハ簡易保険局書記補ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス但シ保険院事務官ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル級俸ヲ受クルモノトス

本令施行ノ際現ニ保険院職員ニシテ休職中ノ者ハ休職ノ際保険院簡易保険局ニ屬シタル者ニ限ル一別ニ辭令ヲ發セラザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ簡易保険局職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼ

ラレタルモノトス

内閣

一 行政簡素化實施ノ爲ニスル鐵道  
 省官制改正ノ件  
 一 鐵道監鐵道官又ハ鐵道官補ノ  
 任用ニ關スル件  
 右謹テ上奏シ恭シク  
 聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付  
 セラレムコトヲ請フ

昭和十七年九月七日

内閣總理大臣東條英機